

○進路体験報告会（理系）の様子と生徒の感想



☆参加した生徒の感想

1年 K.Sさん

3年生の先輩方が、「1年生のうちに、将来について計画的に考えておくことが必要」だと言われていました。何事も早めの行動がとても大切なのだと思います。「言われたことしかしない」のではなく、「自分にしかできないようなことを探し実行する」ことが大事なのだと気づきました。また、学校の内外を問わず、様々な活動が自らの強みになっていくのだと感じました。私は調理部に所属しているので、日々の取り組みや作った料理について記録を残しておくことも、将来に繋がるかもしれないと考えました。さらに、自分の新たな一面を発見するためにも、ボランティア活動等にも参加したいと思います。

私には将来の目標があり、志望校も決まっています。今までは志望校に合格することしか考えていませんでしたが、複数の大学に合格したS先輩のお話を伺い、併願校の受験も視野に入りました。

総合型選抜・学校推薦型選抜の準備はとにかく大変で、長い時間をかけて書類を作成したと伺いました。私も2年後を見据え、1年生のうちに素材集めをしようと思います。先輩方の合格体験談を聞くことができ、やる気が出ました。

1年 S.Yさん

実際の書類やプレゼンを拝見し、志望理由書や面接、小論文など一つ一つの大切さがよくわかりました。先輩方は、それぞれの大学にどのような魅力を感じたのか、自分自身をどのようにアピールするのか、自分の強みをどのように活かしていくのか等に留意しながら、自分にしか書くことができない志望理由書を作ったのだ、と感じました。相手に伝わりやすいように工夫された発表を聞き、とても貴重な体験になりました。

また、良い成績を取る努力をすることや、様々なボランティア活動やインターンシップなどの課外活動に参加すること、知識と実体験を得ることなどが大切であるとのアドバイスをいただき、私も積極的に挑戦していきたいと思いました。自分の将来像をイメージし、やりたいことと大学での学びがマッチしているのかを考えながら、志望大学に進学できるように努力を重ねていきます。

1年生のうちに実体験を聞くことができ、本当によかったです。

1年 O.Aさん

3年生の発表を聞いて印象に残っていることが2つあります。

1つ目は、明確な志望理由を伝えることが大切だということです。進路について発表をされた4人の先輩方は、「どうしてこの大学に通いたいのかを伝えるための工夫をした」とお話されていました。それぞれ異なる方法で工夫をされていたので、とても参考になりました。2つ目は、論文の文章量です。1800字の論文を作成したと聞いたときは「自分に出来るのだろうか」と不安になりました。授業やHR活動など、これまで文章を書く練習をしてきたのは、大学受験や将来のためであるのだと思いました。